

# 母親クラブ みらい子育てネット だより



発行

全国地域活動連絡協議会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1

財団法人 児童健全育成推進財団内

TEL. 03-3797-8183

FAX. 03-3486-5142



## 特集／安全・安心

# 目 次 (16号)

## 特集：「安全・安心」

- 「子どもの安全・安心まちづくり」キャンペーン  
イメージ・キャラクタ、キャッチ・コピー ..... 3P
- 子どもを犯罪から守る  
「公園の安全点検」活動について ..... 8P
- 公園の安全点検から  
宮城県地域活動連絡協議会 佐々木とし子 ..... 10P
- 母親クラブによる「協働」でつくる  
地域の安全プログラム開発事業 ..... 11P
- 新会長挨拶  
全国地域活動連絡協議会 新会長 中村 京子 ..... 2P
- 平成19年度全国地域活動連絡協議会役員 ..... 2P
- ご挨拶  
子育て応援隊の母親クラブに期待する  
厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課長 東 泰秀 ..... 3P
- 平成18年度指導者研修会報告 ..... 4P
- 平成19年度事業計画 ..... 6P
- 平成19年度収支予算 ..... 7P

- 平成18年度「数納賞」受賞者  
大久保仁美さんに聞く! ..... 12P
- 平成19年度全地協被表彰者 ..... 14P
- 児童館紹介「宮崎市 木花児童センター」  
宮崎県地域活動連絡協議会 高山 文子 ..... 15P
- 通信委員の皆さんをご紹介 ..... 15P
- 児童健全育成フェスタ2007 ..... 15P
- 退任理事挨拶 ..... 16P
- 「みらい」保険のご案内 ..... 16P
- 書籍の紹介 ..... 16P  
「安全・安心」の本 / 「児童健全育成」の本 / 「絵本」
- 平成18年度県知事以上表彰受賞者 ..... 16P
- 事務局からのお知らせ ..... 16P

※本誌では以下の略号を用いることがあります。  
 全地協 … 全国地域活動連絡協議会  
 地協 … 都道県・指定都市・中核市地域活動連絡協議会  
 育成財団 … 財団法人児童健全育成推進財団

## 新会長挨拶

全国地域活動連絡協議会  
会長 中村 京子

平成十九年度  
全国地域活動連絡協議会 役員

この度の総会で岡らすも会長の大任をお引き受けすることとなり、身の引き締まる思いです。歴代の会長の皆様のような経験も力もございませんので、皆様のお力を頂きながら精一杯務めさせて頂きます。どうぞよろしくお願ひ致します。

私が母親クラブに関わって二十余年。この間に、子どもを取り巻く環境も、社会情勢も大きく変わりました。地域の母親による地域の子どもたちの為の活動が中心である母親クラブに対し、大きな期待が寄せられるようになり、それと共に変化も求められています。これら期待に応える為に、何をどうしたらよいかをみんなで考えていきたいと思います。全国ネットという利点を生かし、全国各地の情報やアイデアを出し合い、時代や社会のニーズに合った魅力ある活動を展開し、母親クラブの輪を全国に広げていきましょう。皆様の御協力よろしくお願い致します。



監事  
(仙台市  
会長)  
子山早知子



理事  
(大分県  
会長)  
高木美恵子



理事  
(宮城県  
会長)  
佐々木とし子



副会長  
(岡山県  
会長)  
吉田 しきり

監事  
(静岡県  
会長)  
加納永子



常勤理事  
(事務局長)  
松本健一



理事  
(富山県  
会長)  
和田麗子



厚生労働省  
雇用均等・児童家庭局  
育成環境課長 東泰秀

## 子育て応援隊の母親クラブに期待する

あると思います。

皆様方には日頃から、子どもたちの健やかな成長を支えるため、地域において様々な活動に取り組んでいただき心よりお礼申し上げます。

母親クラブの活動は、ここ数年、地域での子育て支援や子どもとの安全対策などの諸活動に大きな成果を上げておられ、子どもを真ん中に置き、かつ、地域に根付いた活動を長く実施されてきたことが、関係者から高く評価されているのだと思います。

一方、活動を発展させる上で、研修等を通じて、母親クラブの改革に取り組んでいただいたことも重要であります。昨年の理事会や総会で、今後の母親クラブの益々の発展のため、後継者の育成や組織の拡充、会費の改訂について積極的に対応していただき、その結果、母親クラブ全体としても目に見える変化が生まれました。このことは、更なる前進で

減少を視野に入れ、制度・施策・意識改革など、あらゆる観点からの効果的な少子化対策を検討する「子どもと家族を応援する日本」重点戦略検討会議を発足させました。六月頃をめどに基本的な考え方をとりまとめる予定であります。が、この重点戦略検討会議にはいくつかの分科会が設置されており、その一つに「地域・家族の再生分科会」があります。子育て家庭を支える地域づくりなどについての検討がされていくことになりますので、こうした動きとも連動した形で、今後の活動の展開を図っていく必要があるかと思いま

**平成十九年度 母親クラブによる  
「子どもの安全・安心まちづくり」全国一齊キャンペーン  
デザイン＆キャッチコピーが決定しました!!**

地域住民への防犯意識の喚起・向上を図るための、「子どもの安全・安心まちづくり」キャンペーン用グッズのデザインが出来上りました。

最後になりましたが、子どもと地域との関わりの強化、地域の中での子育て支援は、今後、益々大切になってくるかと思います。引き続き、こうした子育て応援活動へのご尽力をお願いするとともに、母親クラブの発展を心から願っております。

デザインは、「14ひきのねずみ」シリーズの絵本作家 いわむらかずお先生に手がけていただきました。

また、この事業のキャッチコピーを募集したところ多くの作品の応募があり、選考の結果、下記のキャッチコピーに決定しました。このキャッチコピーはこの事業の全てのキャンペーン用グッズに使われます。

これらのグッズは、「遊び場の遊具点検」や「子どもを犯罪から守る公園の安全点検」をはじめ、買い物時などの日常生活にご活用ください。

### キャッチコピー 「子どもの安全 守り隊」

宮城県地域活動連絡協議会 佐々木とし子の作品



※ステッカーデザイン案です。実際の印刷物と色は異なります。

## 全国大会

今回で沖縄県は「一度目（前回は平成三年）となる全国大会。講演については、私たち沖縄地協役員一同迷わず「平田大一さんにお願いしたい」という気持ちでした。

平田氏は、舞台経験のない与勝地域の子どもたちに現代版「肝高の阿麻和利」を指導し、大成功を収めました。母親クラブの活動に相応じるものを感じお願いし、心よく引き受けたところです。

当日は主催者として厚生労働省の東課長から母親クラブへの期待を込めたご挨拶を頂きました。その後の講演では、最初から最後まで笑いあり、涙あり、パワフルな唄に演奏、踊りありの盛りだくさんな内容となりました。寄せられた感想の中には、「必ずひとりから始まる、そのひとりが自分である。」という言葉に感銘した」という声や「誓めることの大切さ、その瞬間をとらえて声かけする大切さ」など、この言葉を元にこれから先、地域の子どもたちや地域の人々と関わっていきたいと言う声がありました。



平田さんのパワフルな唄と演奏が響き渡った

## 平成十八年度 指導者研修会報告

### 北海道・東北／関東・甲信越ブロック研修会

「みんな同じ思いなんだ！」今回の研修で一番実感したことです。大変多くの方が自分と同じ事を思って、悩み、乗り越えようとしている事に、ビックリしました。

一日目は、「みんなでつなげよう！子育ての輪・地域の輪」をテーマに、

バズセッションが行われました。各グループとも活発な議論がされ、他地域の様々な状況が分かつて、とても参考になりました。また、全員が参加できるこの形態をとったことで、地域を越えて交流を深めることができました。その後の意見交換会では、すっかり「子育ての輪・地域の輪」が広がっているようでした。

二日目には、中村攻先生の「子どもを犯罪から守る公園の安全点検」を総括したお話を頂きました。改めて自分たちの活動の大切さを実感しました。

最後に、来年度へ向けて研修会の在り方等について、今年度の成果と反省を踏まえ、意見交換会を行ないました。パネラーは各ブロック研修会開催地の会長、コーディネーター兼講評を厚生労働省の鈴木雄司専門官にお願いしました。参加者のアンケートには「他のブロック研修会の様子が分かり参考になつた」と多数の感想が寄せられました。記 沖縄県地域活動連絡協議会会長 宮城 洋子

の在り方等について、今年度の成果と反省を踏まえ、意見交換会を行ないました。パネラーは各ブロック研修会開催地の会長、コーディネーター兼講評を厚生労働省の鈴木雄司専門官にお願いしました。参加者のアンケートには「他のブ



研修会実行委員会の手作り朗読劇披露  
この劇を導入口として、パネルディスカッションに移りました。茨城大学の長谷川幸介先生のコーディネーターで、日立市の専業主夫・矢沢政義さんら四名のパネリストが討論しました。特に矢沢さんは子育てについて、「自分は子どもが大好きなのに、子育てが辛くて涙が出てしまうことがある」と話すと、会場中からすり泣く声まで聞こえました。聴いているお母さんは、「心の内を代弁してもらつた」「男の人でも母親の気持ちを分かつてくれる」と感じ、嬉しかったそうです。皆さんに共通の事柄が題材になつていたため、会場中が一つになつていました。壇上から見ていても、聴いている人の心がまっすぐこちらに向いているのを感じ、身震いしました。あの時の感動は忘れられません。

今回のフォーラムのテーマ「大切だよ」と多数の感想が寄せられました。記 沖縄県地域活動連絡協議会会長 宮城 洋子

自分を見つけなおす、家族の絆も確認していく…といったものです。この劇を導入口として、パネルディスカッションに移りました。茨城大学の長谷川幸介先生のコーディネーターで、日立市の専業主夫・矢沢政義さんら四名のパネリストが討論しました。特に矢沢さんは子育てについて、「自分は子どもが大好きなのに、子育てが辛くて涙が出てしまうことがある」と話すと、会場中からすり泣く声まで聞こえました。聴いているお母さんは、「心の内を代弁してもらつた」「男の人でも母親の気持ちを分かつてくれる」と感じ、嬉しかったそうです。皆さんに共通の事柄が題材になつていたため、会場中が一つになつていました。壇上から見ていても、聴いている人の心がまっすぐこちらに向いているのを感じ、身震いしました。あの時の感動は忘れられません。

言葉が、一日間の研修を終えて、すっかり自分のテーマになつた気がします。記 茨城県地域活動連絡協議会副会長 谷川原 奈都子

## 東海・近畿・北陸 ブロック研修会

わが静岡県の母親クラブがブロック大会開催を知ったのが、平成十七年春、新体制になってからのことでした。開催まで一年半しかありません。「さあ、大変」とばかりに、会長はじめ静岡県の行政の方、理事の面々、みな必死になつて知恵の出し合いで。

まず、静岡県としてどういう特徴を出すかということでした。「静岡と言えばお茶」みなさんに美味しいお茶を飲んでいただきたい、おみやげにお茶の花のブローチをプレゼントしようと考えました。皆でわいわい言いながら作ることによって、会員相互のブロック大会への意識が強まりました。

今回、静岡県地協の加納会長の意向で、理事会で決めたことを実行するために各単位クラブの会長を招集し、会長会議を開き、理事が責任者となつて出席者全員に役割を振り分けました。会場への案

内係、お茶出し係、宿泊係、受付係などなど：同じ目標

を持つて、各

係りと連携を図ることによって、ブロック大会はスタッフの身近なも

のとなり、協力の気持ちを大きくしたと思います。

交流会の出し物にはちょっと悩みました。結果、今までのブロッ

ク研修会ではやつたことのないスタイルとして、参加している各県

ごとに何か発表して頂くことになりました。静岡県は茶摘の手遊び

「セッセッセ」と「富士山」の歌

を手話でやりました。各県のみなさんは、歌あり、踊りあり、南京玉簾あり、自県のPRありと、各県の特色がみられ本当の意味での交流会となりました。最後に静岡の美和パンピーの親子による「おだつくいまつり踊り」で会場全員が盛り上がり無事お開きとなりました。お帰りになる皆さんのお顔がにこやかで、楽しそうで、スタ



会員一同で作り上げた研修会!みんなで思い出の1枚

ツフとしてこれが一番うれしいことでした。記 静岡県地域活動連絡

議会副会長 日野信子

## 中国・四国／九州 ブロック研修会

平成十八年九月七～八日、平和都市広島市に於いて、指導者研修会が開催されました。

一日目は、まず、厚生労働省の鈴木専門官から、今の児童福祉の現状、少子化、母親クラブの果たす役割まで、多岐にわたる身近な内容を含んだ行政説明がありました。

次に「今ボランティアの出番です」をテーマに、福山平成大学福祉健康学部の藤井教授による講演。

フォーラムでは、藤井教授がコーディネーターを、パネリストに児童館館長、区長協会長、数少ない男性地区会長。立場の違う三者からの現状を踏まえた討議がなされました。

その中での共通認識は、会員同士、子どもたちとの相互の信頼関係なくしては成立しないということ。

留守家庭児童の帰宅時の安全や家族が帰宅するまでの見守り、児童館の閉館時間の問題等、広島では児

童の放課後対策の協議がなされています。母親クラブが何処まで係わり支援していくかが討議されました。意見交換会は、広島市地協が熱心に取り組んでいる、交通安全マスコットを、

パンダとウサギさんを登場させ配布しました。手話コラスやプロの生演奏は心地よく盛会のうちに会話がはずみ楽しく交流しました。



交通安全マスコット配布中

二日目は、全地協事業報告のあと、「子どもを犯罪から守る公園の安全点検」の事前説明が、千葉大学の中村攻教授により映像を交えてされました。子どもは本来、外で元気に遊べることが、私たちの願いであります。この安全点検活動は最重要課題と受け止め、地域と共に進めて行きたいと改めて思いました。

最後に、会議の合間に皆さんに折つて頂いた折鶴は、平和公園に納めさせていただきました。

記 広島市地域活動連絡協議会 副会長 佐々木洋子

## 平成19年度 事業計画

平成19年2月28日、全地協通常総会が開催されました。

ここで決議された今年度の事業計画のうち主な内容は以下のとおりです。

### ポイント1

「母親クラブによる『子どもの安全・安心まちづくり』全国一斉キャンペーン事業」の展開  
福祉医療機構から助成を受けて実施する事業です。キャンペーン用キャラクターとキヤッヂコピー(本誌3頁)のある各種グッズを作成して、母親クラブの皆さんのが日常生活の中で、また、母親クラブの活動をするときに活用しキャンペーンを行うものです。具体的なグッズや数量等は各ブロックからの代表者を含めた企画委員会で決定されます。

### ポイント2

7月に全単位クラブで「公園の防犯活動」を展開  
「公園の安全点検票」を記入しやすいように簡略化します。

### ポイント3

各地協・単位クラブの意見を全地協の運営に反映

① ブロック会議の年2回開催(参加者への旅費支給)

19年度は特に次の事項について討議願います。

○ 組織の拡充

○ ブロック研修会のあり方(ブロック編成、有意義な研修方法等)

○ 母親クラブの名称について

② 副ブロック長も理事会にオブザーバー参加

### ポイント4

広報・情報発信ツールの拡充

各ブロックから選ばれた委員(本誌15頁)を中心にホームページと機関紙の充実を図ります。

### [事業スケジュール]

(全国一斉キャンペーン事業)

4月		4月23日企画委員会 (グッズ内容・数量等の決定)
5月		
6月	1日…第1回理事会(平成18年度事業報告・収支決算) 臨時総会(持ち回り総会) 14・15日…中国・四国／九州ブロック研修会(岡山県)	(※) グッズ等送付
7月	8～14日…「遊び場遊具の点検活動」「公園の防犯活動月間」	キャンペーン(各グッズ活用)開始
8月		各ブロック会議
9月	13・14日…北海道・東北／関東・甲信越 ブロック研修会(福島県)	
10月	4・5日…東海・近畿・北陸ブロック研修会(石川県) 25・26日…全国大会(和歌山県)	
11月	第2回理事会(20年度事業計画等)	
12月		
1月		各ブロック会議
2月	第3回理事会・全国会長会議・通常総会(20年度事業計画等)	
3月		

(※)6月始め…「遊具の点検票」「公園の安全点検票」送付

## 平成19年度 収支予算

通常総会において決議された今年度収支予算は以下のとおりです。

### 1. 平成19年度の全地協会費

平成18年度と同様 [2万円+4月1日時点の単位クラブ数×1,000円] です。

### 2. 一般会計収支予算

#### 収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額との差異 (今年度 - 前年度)	概 要
会 費 収 入	2,820,000	△ 80,000	$20,000 \times 35(\text{地協}) + 1,000 \times 2,120(\text{単位クラブ数})$
I 特別会費収入	1,950,000	△ 250,000	「みらい保険」制度運営費
II 助成金収入	4,900,000	0	(財)児童健全育成推進財団より
III 雜 収 入	20,000	0	物品の斡旋による収入等
当期収入合計 (A)	9,690,000	△ 330,000	
前期繰越収支差額	5,030,000	3,210,000	平成19年1月末時点の見込額
収 入 合 計 (B)	14,720,000	2,880,000	

#### 支 出 の 部

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額との差異 (今年度 - 前年度)	概 要
シス テ ム 費	200,000	0	
ホームページ保守料	300,000	150,000	ホームページの見直し
ブロック会議開催費	1,200,000	1,025,000	年2回の開催を予定(出席者の旅費を含む)
機 関 誌 作 成 費	1,000,000	250,000	年1回発行
遊具の点検全国キャンペーん	600,000	50,000	点検結果の集計結果報告書の作成
公園の防犯関係費	700,000	700,000	点検票作成、結果報告書の作成
ちらし作成費	100,000	0	
表 彰 関 係 費	100,000	△ 50,000	全地協表彰
旅 費 交 通 費	3,000,000	0	総会、理事会、全国大会・ブロック研修会(事務局)
推 進 対 策 費	750,000	0	全国大会・ブロック研修会の動員用経費
加 入 促 進 費	750,000	250,000	「みらい」制度運営費(各地協への支払分)
印 刷 費	200,000	0	
会 議 費	700,000	0	総会、理事会
通 信 運 撥 費	450,000	0	
消 耗 品 費	100,000	0	
賃 借 料	200,000	90,000	倉庫代、総会会場費
子 育 て 支 援	650,000	20,000	特別会計(子育て支援事業)の補助
モデル事業支援	200,000	△ 1,250,000	厚労省モデル事業の補助
雑 費	100,000	50,000	祝・弔電、書籍
予 備 費	3,420,000	1,595,000	
当期支出合計 (C)	14,720,000	2,880,000	
当期収支差額 (A) - (C)	△ 5,030,000	△ 3,210,000	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	0	

(注) 全地協事務局運営のための管理費、借室料等は(財)児童健全育成推進財団が負担しています。

### 3. 特別会計収支予算

以下の2つの特別会計があります。(詳細は省略)

① 地域組織活動支援事業 … 全国大会・ブロック研修会開催を管理する特別会計です。

(財)こども未来財団から1,100万、および(財)児童健全育成推進財団から150万の助成金と参加者一部負担金が80万、合計1,330万円で運営されます。

② 子育て支援事業

… 独立行政法人福祉医療機構の助成事業「母親クラブによる『子どもの安全・安心まちづくり』全国一斉キャンペーン事業」を管理する特別会計です。福祉医療機構から約2,300万の助成、一般会計65万の補助、合計約2,365万円で運営されます。

## 特集 安全・安心

# 子どもを犯罪から守る「公園の安全点検」活動について

全国地域活動連絡協議会（母親クラブ）は平成十八年度に独立行政法人福祉医療機構の助成を得て、中村攻・千葉大学教授の指導のもと、第一回「子どもを犯罪から守る公園の安全点検活動」を実施した。

全国から報告された二千部を超える安全点検票は、中村教授が集計・分析し、その結果を活動報告書としてまとめ、四月中旬には全国の各都道県・指定都市・中核市の地域活動連絡協議会および行政担当課に全地協・事務局より配布される。

報告書から、この活動のポイントと今後へ向けての課題を考えました。

### 一、何故、「公園の安全点検」か

公園は子どもたちにとって最も大切な生活施設の一つである。かつて彼等の代表的な遊び空間であつた道路、空地そして社寺境内は自動車や建物に占拠され、彼等の遊び空間としての公園のもつ意味

は以前とは較べものにならない程に大きいものになっている。

こうした公園が、子どもたちに加えられる痛ましい犯罪の場所になつてている。平成十七年度の母親クラブの調査でも公園は道路と並んで子どもたちが犯罪の危険に遭遇した典型的な空間になつてている。

東京の宮崎事件は集合住宅団地の公園で発生した。また、神戸の北須磨の事件も住宅団地の公園・緑地が現場であった。このように、公園・緑地の危険性が浮きぼりになつてている。

こうした社会的背景をふまえて、母親クラブは「子どもを犯罪から守る公園の安全点検」を実施し、この課題への社会的喚起と点検手法の改善・確立を目的として、本活動に取り組んだのである。

### 二、「安全確保」への

#### 2つのアプローチ

地域の人々に親しまれ良く利用される公園づくりが安全対策の基本になる。しかし、常時そうした



ビデオマニュアル撮影の様子。

- (1) ソフトな側面からの安全な公園づくり
- ② 公園を「地域のリビングルーム」へ

その第一の柱は、地域の住民に親しまれた良く利用され大切に管理運営される公園づくりである。

まず安全な公園の第一の条件は、地域の大人から子どもたちまで様々な階層の人々に親しまれ大切にされる「俺達・私達の公園」づくりである。

そして、この活動の中心は地域住民にある。行政や専門家が中心になつてすすめる安全点検ではない。

これは、地域住民が公園とそこで遊ぶ子どもたちへの関心を喚起することにある。「安全」と「楽しい」という視点から公園への関心を高めていくことである。

この活動に取り組むなかで、母親達の公園を見る目や公園への係わ

てすすめていく方法が求められる。こうした要請に答えて考案されたのが、ここで展開する方法である。

**特集**  
**安全・安心**

もう一つの柱はハードな側面からの安全な公園づくりである。公園の安全というと安直な『死角』対策が先行し、やたらと公園の樹木が伐採されたりすることが少なくない。しかし、いくらこうした『死角』対策をすすめても、そこで遊ぶ子どもたちに目を注ぐ大人がいなければ問題は解決しない。具体的には公園の周辺に住んで（働いて）いる人々、周辺道路を行き交う地域の人々、更には公園を利用している人々から、子どもたちが見守られる空間的な改善である。

成長していく。当面の関心事である『子どもの安全』というテーマから行動を起こし、やがては公園を地域のリビングルームへと成長させていくプロセスが期待できるのである。公園をみればその地域のコミュニティの成熟度合いがわかるというものである。

(2) ハードな側面からの安全な公園づくり

「地域住民の目線を確保！」



危険箇所を確認中、地図上でチェック。

具体的な点検項目としては、①公園の内部、②公園の接園部、③公園の立地という3つの視点から、地域住民の目線を確保するという点を中心にして空間構成と利用・管理状況を点検し、その改善方向を検討することである。

おわりに

この調査は集計分析して何らかの客観的傾向をみると主たる目的ではない。それ故に点検表も自由記入欄が多く、数量化して分析するようなものにはなっていない。しかし、公園の安全という視点から北海道から沖縄に至るまでの二千を超える公園を対象とした全国調査はこれ迄に存在しない。そこで本調査報告書では、代表的な調査例を記載して点検活動の在りのままの姿を理解すると共に点検表に記載された内容を数値化し、集計分析して一般的傾向を読みとることにしたのである。

点検結果の詳細は「母親クラブによる親子でつくる地域の安全な環境づくり事業」調査報告書（平成十九年三月 全国地域活動連絡協議会）をお読みいただき、理解を深めていただきたい。

母親クラブは、この活動を毎年、緩やかであっても着実に前進させ、地域の期待に応えていきたい。

（文責 全地協 事務局）

都道県・指定都市・中核市別の取り組み公園数			
都道府県	報告書数	都道府県	報告書数
北海道	89	鳥取県	5
青森県	29	岡山県	52
宮城県	64	広島県	6
仙台市	14	広島市	117
山形県	31	山口県	119
茨城県	10	香川県	36
栃木県	14	愛媛県	85
群馬県	44	松本市	16
東京都	10	北九州市	21
新潟県	12	佐賀県	17
石川県	29	熊本県	14
福井県	379	宮崎県	60
静岡県	2	鹿児島県	4
愛知県	575	沖縄県	32
兵庫県	97	合 計	2,030
和歌山県	47		

資料：点検対象公園の概要



行政から取り寄せた公園の地図。

# 特集 安全・安心

宮城県地協では、遊び場の「遊具点検」は特に力を入れて取り組んでいる活動のひとつであり、子どもたちの事故防止に多いに貢献してきました。

しかし、ここ数年、子どもたちが犯罪に巻き込まれる事件が相次ぎ、子どもたちの安全への取り組みが重要になってきました。これを受けて、全地協の新規事業としての公園の防犯活動「子どもを犯罪から守る公園の安全点検」が十八年度から加わることになりました。

実施にあたっては、単位クラブの相互理解を得るためにも説明会が必要であることから、千葉大学の中村攻教授を講師に招いて、防犯活動の研修会を開催することになりました。

早速、全地協の事務局に相談してみたところ、北海道・東北ブロック指導者も含めての研修会にしてはいかがでしょうかというご提案をいただき、平成十八年九月二十二日、宮城県中央児童館に於いて「子どもを犯罪から守る公園の安全点検」事前

## 公園の安全点検から

宮城県地域活動連絡協議会

佐々木とし子

説明会を開催しました。

講師の中村攻教授より趣旨等の解説があり「子どもたちの防犯を考えて公園は造られていない」とい

つた話や、「子どもたちは地域の学校に行き、地域で生活しているので、子どもたちの安全のために地域のネットワークの中で、母親クラブの特性を生かしながら見守っていきたいと思います。

私たちの「子どものための防犯活動」は始まつたばかりです。地域のネットワークの中で、母親クラブの特性を生かしながら見守つていきたいと思います。

今回の県地協「安全活動の取り組み」は、県子ども家庭課推薦により、文部科学省の「地域で子どもを見守る」活動についてインターネットで検索・閲覧できるシステム「子どもナビ」に掲載されました。

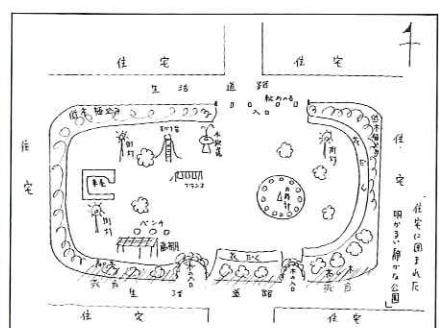
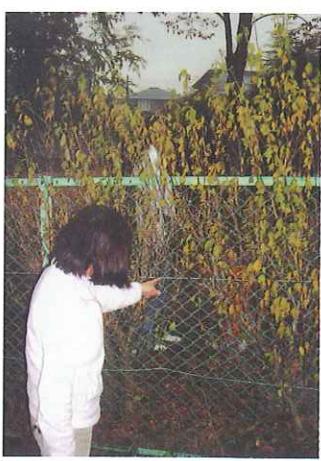
十月の安全点検では、公園の中

事前研修会の様子



や周囲の障害物などハードな面と、公園が地域の方に普段から利用され大切にされているなどのソフト面にも注目しながら点検しました。

しかし、今年度は準備期間が短かったことや、点検報告書の書き方が大変だったと言う声が聞かれ、月末までの点検の報告は、ほぼ半分くらいの単位クラブの実施にとどまりました。また、行政からの理解が得られなかつたという町もあり、今後の課題となりました。



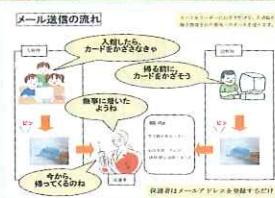
手書きの公園地図



公園内部を点検

子どもが隠れてしまう程高い茂み

## ●北海道 N's親の会



## 企業と協働！

児童センター利用児童の入退館及び不審者情報、その他児童センターからの情報を保護者の携帯電話に配信するシステム「あんしんネット」を構築。緊急時の情報がスムーズに。

## 平成18年度 母親クラブによる

「協働」でつくる  
地域の安全プログラム開発事業

子どもを取り巻く環境はここ年々危なくなっています。この背景を踏まえ、母親クラブも各地域に合った安全・安心活動を実施しています。しかし、子どもの安全な環境作りに終わりはないと理解しながらも、「いつまでどのように継ければ良いのだろうか?」と多くの人が疑問に感じています。

そこで、カギとなるのが『協働』です。違う団体と活動することは、持っている資源や情報を共有し、新たな活動を生み出す利点があります。18年度は全国から10クラブが、「協働」に重点を置き、様々な地域の安全プログラムを開発しました。

ここでは、その活動の一部を紹介します。

この事業は(財)こども未来財団の助成を受けて(財)児童健全育成推進財団が実施した事業です。

## ●新潟県 有明父親クラブ



## 地域のボランティアと協働！

児童センターに来館する子どもたちの安全を地域のボランティアが見守る。父親クラブがコーディネートしながら、ボランティア同士の連携を図れるように調整した。

## ●群馬県 邑楽町児童館友の会



## 町の連合会と協働！

町の伝統芸能八木節を防犯と繋げ、「防犯八木節」を作り上げた。発表に向けて子どもたちが10回以上に及ぶ練習を行う。練習を重ねるごとに子どもたち自らが防犯について考えるきっかけとなった。

## ●山形県 本郷母親クラブ



## 行政と協働！

子どもの遊び場、公園を綺麗にすることから安全な環境作りに取り組む。遊具やベンチ等を塗り直して子どもたちが楽しいと思える遊び場を提供。行政と協働で取り組むことから、都市計画の立場からの町作りを学んだ。

## ●広島県 みらい子育てネットみはら



## 中学生ボランティアと協働！

児童館に関わっている中学生ボランティアが安全啓発絵本の読み語りを実施。実際子どもたちが危険な目にあった事例に対し、「きみならどうする?」と問い合わせることで、自ら答えを導き出す力を育むことができた。

## ●兵庫県 みらい子育てネット高砂



## ガールスカウトと協働！

放課後の子どもたちの「たまりば」マップを作成。高砂市内の小学校の子どもたちに放課後、どこで遊んでいるかヒアリング。活動する前に、まずは子どもたちの居場所を大人が知ることで、防犯に繋がる。

## ●石川県 野々市町ひだまりクラブ



## 保育園と協働！

3つの母親クラブが協力し合い、防犯ペーパーサートを保育園で披露。子どもたちの大好きな「あかずきん」を題材に、地域の情報を含め防犯に関するストーリーを考えた。子どもたちはあかずきんの世界に夢中！！

## ●鹿児島県 母親クラブエンジェルスマイル



## CAPと協働！

鹿児島ではあまり知られていないCAPの講習を実施。アンケートを実施することで、子どもたちの気持ちの変化が読み取れた。参加者全員がアンケートに「困った時に役に立つ」と回答！！母親クラブの思いが伝わった。

## ●熊本県 ながす地域活動



## 小学校と協働！

母親クラブが作成した脚本で子どもたちが防犯寸劇を小学校体育館で披露。子どもたちも自ら演じることで、改めて防犯意識の向上へと繋がった。子どもたちの熱意が大人へ伝わり、第2回目の劇上演が実現した。

## ●香川県 カナンわくわく母親クラブ



## 児童館と協働！

清掃活動と防犯マップ作りを合体。まずは清掃活動から始めた。次に、防犯マップを作成するため町の危険箇所をチェック。町をキレイにすることから、地域の安全な環境作りへと繋げた。

## 六年振りの数納賞受賞者 ——大久保さんに児童厚生員としての熱い思いを語つていただきました。——

**Q／数納賞受賞、おめでとうございます。まず応募された動機についてお聞かせください。**

ありがとうございます。私は千葉県船橋市で保育士として採用され、児童館の児童厚生員をしていました。公募要綱に目が留まったのは昨年の今頃でした。「数納賞って何だろう：どんな賞なのか良くわからぬけど、十六年間手探りでやつてきたことを、形にできる良いチャンスかも」そんな軽い気持ちでした。

**Q／児童厚生員として日頃心がけていることをお聞かせください。**

児童館には決められたカリキュラムもなく保育所の保育指針のような物もありません。全くの白紙の事柄、地域から求められるニーズをキャッチして、日々の仕事の計画をたてます。広報活動や内容の充実で面白い程、人が集まります。ともすればカルチャーセンターやイベント業者になつて

しまいそうな事もありました。そんな時大切な事に気付きました。

「まずは、今日出会ったこの子から、この母親から笑顔にしよう、笑顔を守ろう」。そんな思いです。

**Q／なぜこのテーマについて書こうと思われましたか。**

仕事の目標を一つ掲げると複雑多岐にわたる児童館の仕事がすつきりと分かり易くなります。そこで、夏から秋にかけ、夢中で三つの文章をまとめ上げました。その中の一つが今回の応募作品『児童館からの発信 難病の子と共に育った児童館の歩み—魚鱗癖を知つてください』です。先天性の皮膚の難病を持つ赤ちゃんと母親が始まめて児童館に来館してから次の社会へ向かう四年間の親子、職員、周りの人々の成長を書いたもので

事の意味を見つけました。  
今の時代の子育ては大変です。沢山の情報に振り回され、自分の感性で子育てをする事が難しいです。だから、子育て仲間が必要です。共感してくれる協力者が必要です。子どもを育てている母親と父親、その方々を応援する祖父母や地域の方々。そして、私たち専門職など全てがネットワークになり、大切な命を大きく大きく育てていきましょう。私は、行政の専門職の立場で、どのような提供が出来るのか、いつも考えていました。

それが今回の実践報告「魚鱗癖を知つてください」です。私が書く事で、一人でも多くの方に魚鱗癖を知つてもらい、児童館に来てくれた魚鱗癖の親子を応援して欲しい。児童館で働く児童厚生員の仕事を知つて欲しい。そんな大きな思いがありました。

**Q／数納賞を受賞された感想をお聞かせください。また、周囲の反応はいかがでしたか。**

書いた時にはそれだけで充分だと思いました。しかし、うれしかったです。自信がなく、手探りで、行つて来た事柄を文章にして、第三者に読んでもらい、共感してもらえた。本当にありがとうございます。

「自分の仕事に対する姿勢は概ね間違いではなかつたのだ」と自分で自分を認められるようになります。初心に帰り、更に丁寧にきめ細かく、仕事に取り組む決意をしました。そして、自信も少し湧いてきました。

私の周りでは：「児童厚生員の行動に共感し「児童館で育つた魚鱗癖の子を正しく理解しよう。彼の育ちを地域全体で応援していくう！」と児童館で育つた子どもた

**平成十八年度 数納賞受賞者『大久保仁美さん』に聞く！**



児童館での経験を楽しく語る大久保さん

ちや、保護者、地域の方々が協力し、數納賞受賞の大きな記念パーティーを開いてくれました。「児童館は地域の方々と共に在ること」の意味を再確認しました。

### Q／大久保さんは「食育」にも係わられているとお聞きしましたが。

「児童館発信の母親だからこそできる食育」に取り組み、十数年がたちました。初めは「食育」なんて呼べるものではなかつたかもしません。食育研究家などの講師頼みで完結してきました。しかしそれではいけないと思い、児童館独自の食育を考えました。「栄養士でも調理師でもない私たちが食を語つて良いのだろうか」そんな不安な思いがありました。しかし沢山の親子の様子を見守り、沢山の母親の不安に寄り添っている児童館だからこそ伝えられる食育。伝えていかなければならぬ食育があるのではないか？？と思いました。

### Q／具体的には、どんな「食育」ですか。

保育士である私は、「食べる事は楽しい事。人と食を共にする事は嬉しい事」「食に関する感受性を育てたい」そんな思いで行う児童館

### Q／最後に、全国の母親クラブの会員へ＜エール＞をお願いします。

独自の内容を模索しました。そしてたどり着いたのが昨年初めて私の児童館で取り組んだ幼児対象の「おにぎりパーティー」です。

それは、①教育研究家から栄養全般の話をしてもらう。②大好きな人（ほとんどが母か祖父母、兄弟）を招待するおにぎりパーティーを企画する。

③子どもたちだけでおにぎりを作り、大好きな人と一緒に会食する。

子どもたちは「心を込めて作った物を大好きな人に食べてもらえる喜び』を実感するのです。

難しい栄養学や食事のバランスの話を伝えるより、もつともつと大切な『どうしても伝えなければならない、食育があるのではないでしようか？今の食育ブームに惑わされることなく、基本線を絶対に崩してはいけない』と思います。

食の知識を詰め込んだり、講師に講演依頼をしてまかせっぱなしにしてしまうのは無責任だと思います。「食べる事って楽しい事、人と食を共にする事は嬉しい事」を応援する食育でありたいと思っています。



手作りの「食育」エプロンを着て、ハイポーズ！

紙面の関係で大久保さんのお話を十分掲載できず残念です。大久保さんから直接お話を聞きしたい母親クラブの方は全国地域活動連絡協議会・事務局までご連絡ください。

なお、大久保さんの受賞作品は（財）児童健全育成推進財団のホームページ(<http://www.jidoukan.or.jp>)に載っていますので、ぜひ、お読みください。

（文責／全地協事務局）

### 【數納賞について】

數納賞は児童の健全育成に関する優れた実践報告に対する褒賞です。児童健全育成推進財団が主催し厚生労働省が後援しています。

毎年九月頃応募要領が行政、児童館や県・市の各地協に配布されまます。受賞者には賞状と賞金が授与され、実践報告は日本児童学会誌「児童研究」に掲載されます。

私は「児童館発信の食育——母だからこそ出来る食育——」と「児童館発信の親子タイム——ママが作ったかいじゅうクラブ」を文章で発信しています。いつか又、チャンスがありましたら、母親クラブの皆さんへ発信させていただきたいと思います。

私が住む船橋市では、母親クラブになじみがありませんでした。母親を中心にしてこのような地域のネットワークがあり、素晴らしい活動が全国に広がっている事を初めて知りました。全国の母親クラブを心から応援したりました。皆様の素晴らしい活動をもつとも

つと沢山の方に広めていきましょう。その為に數納賞への応募をお勧めいたします。きっと何かが変わります。

## 第21回(平成19年度)全地協被表彰者

### 個人の部

地協名	氏名	所属クラブ名
北海道	本間 弓子	函館市深堀母親クラブ
	前川 奈美子	釧路町陸児童館母親クラブ
青森県	佐藤 ちづ子	ひまわり母親クラブ
	工藤 季子	
	工藤 美生子	すずかけ母親クラブ
	白沢 敦子	若葉母親クラブ
	中山 秀	ひまわり母親クラブ
宮城県	三浦 わか子	迫児童館はくちょうクラブ
	佐藤 孝子	塩竈市梅の宮母親クラブ
	山岸 富子	蔵王町若草母親クラブ
山形県	安達 順子	山形市西部母親クラブ
福島県	大河原 和子	白河市大工町母親クラブ
栃木県	梅澤 すみ代	足利市八幡地域活動クラブ
	柳田 陽子	下野市石橋母親クラブ
群馬県	山口 陽子	韮川児童館母親クラブ
	石沢 たかゑ	アクト☆やまと姫
福井県	増永 たみ子	越前市しきぶ母親クラブ
静岡県	金森 美恵子	大宮母親クラブ
	秋山 恵子	
	菅原 友江	由比町児童館母親クラブ
	豊島 智江	
	日向 早苗	
愛知県	原田 恵子	尾張旭市みらい子育てネット東栄
	永田 美登里	尾張旭市みらい子育てネット瑞鳳
	蓑島 佳代	一宮市子育てネットびさい北部
	鈴木 公子	一宮市三条地区母親クラブ
兵庫県	根岸 恵子	尼崎市大庄北地区母親クラブ
	尾崎 厚子	
和歌山県	玉西 秀義	王子父母子ども会
	塩崎 正幸	日方親子クラブ連絡協議会
	長束 千代美	戒仲丁母親子どもクラブ
岡山県	吉田 しをり	倉敷南母親クラブ
広島県	山上 文恵	呉市二川地域活動連絡協議会
広島市	小松 保子	東雲母親クラブ
	寺川 浪江	古田母親クラブ
	瀬戸 昭子	戸坂地域活動クラブ
山口県	阿部 裕子	防府市佐波母親クラブ
香川県	岩崎 恵子	坂出市少年を守る母の会
	尾崎 繁子	
	櫻井 登志子	

地協名	氏名	所属クラブ名
香川県	正木 勝未	坂出ボーイスカウト
松山市	山本 タツ子	素鶯みらいクラブ
熊本県	坂上 康男	ながす地域活動
	田頭 稔	
	小川 弘	
	奥村 栄子	西原公園児童館母親クラブ
大分県	森 和子	浜脇母親クラブ
	阿部 緑	
	辻本 寿枝	大神母親クラブ

合計 49 名

### 団体の部

地協名	団体名
北海道	釧路市白樺児童館母親クラブ
	滝川市東滝川児童館母親クラブひつじの会
青森県	浪岡第二母親クラブ
宮城県	大島児童館ぐぐなり母親クラブ
	吉岡児童館ひだまりクラブ
	さくら母親クラブ
栃木県	鹿沼市加蘇母親クラブ
群馬県	大泉東児童館母親クラブ
	太田市韮川児童館母親クラブ
石川県	みらい子育てネット加賀地域活動連絡協議会 動橋げんきクラブ
静岡県	静岡市みらい子育てネットパンピー
愛知県	犬山市犬山西児童センター地域活動クラブ
和歌山県	城北地区母親子どもクラブ連絡協議会
岡山県	万寿の子会東母親クラブ
広島市	五月が丘母親クラブ
	牛田新町母親クラブ
山口県	美東町地域活動連絡協議会
	高水母親クラブ
沖縄県	久茂地児童館母親クラブ

合計 19 団体

被表彰者個人ならびに団体の皆様、おめでとうございます。  
 今後も地域の子どもたちの健やかな成長と健全育成のために  
 ご活躍ください。

表彰式は、平成19年10月25日和歌山県白浜町にて行います。

児童館紹介

「宮崎市 木花児童センター」十五歳になる木花地域活動クラブの活動拠点「木花児童センター」は当クラブより二歳以上の平成二年四月に誕生しました。宮崎市の南部に位置し、宮崎医科大学と統合した新しい宮崎大学が近くにあります。学園都市と農業の地域で、ここ二十九三十年の発展は目覚しいものです。また、長年、社会福祉協議会が運営をしていましたが、平成十八年度より指定管理を受け社会福祉事業団が運営を行っています。

地域には学園木花台小、鏡洲小、そして、木花小の三つの小学校がありますが、児童センターのすぐ近くにある木花小の子どもたちの利用が多く、学校と保護者との連絡が取れている児童は、学校帰りに利用できるようになっています。

また、近くの木花保育園の散歩コースに入っているので良く利用されています。年一回の運営委員会では、各団体や、小学校の校長先生、駐在所長さん等十七名の委員が情報交換を行うことにより、子



当クラブも児童の「子どもフェスティ、もちつき大会、茶道体験教室、豆まき」等、児童の茶道体験、「親子運動会、クリスマス会、親子茶道体験、豆まき、親子ピクニック」等

最近ではいろいろな団体の利用も多くなりました。月一回、土曜日に婦人会の方が子育て支援として、託児預かりボランティアをしています。その他に、毎週二回の幼児クラブ「なかよしタイム」は、子育て中の親子が触れ合い、体操や読み聞かせなどを楽しめる場としています。幼児クラブを実施する際には児童民生委員の方が必ず一名参加され、子守りや子育て相談に応じています。

どもたちの状況がよくわかるようになりました。

平成十九年度の事業計画の一つに「広報・情報ツールの見直し」を挙げています。そのため各ブロックより一名の通信委員に協力をお願いしました。通信委員の大きな役割は二つ。  
 ①ホームページと機関紙を、見やすく有効な情報発信ができるようにするための意見やアイディアを提供  
 ②全国に発信すべき各ブロックのニュースや単位クラブの活動事例収集

通信委員の皆さんをご紹介

高山文子	阿部 恭子	北海道・東北ブロック
	根津久美子	関東・甲信越ブロック
	細川 豊子	東海近畿・北陸ブロック
	伊賀上恵子	中国・四国ブロック
高山 文子	九州ブロック	

## 児童健全育成フェスタ2007

次世代を担う子どもたちからの発信！

参加無料

5月6日(日) 10時~16時 上野恩賜公園噴水池広場

★オープニングセレモニー★工作遊び・ゲームのブースや子育て情報ブース ★児童館の子どもたちによるパフォーマンス ★パトカー・消防車・変わり種自転車コーナー・・・などなど

昨年は、児童福祉週間制定60周年を記念して全国29ヶ所で児童館フェスタ2006として開催され、全地協も各単位クラブも参画し好評を得ました。今年は、児童健全育成フェスタとして上野公園で開催することになり、東京都近郊の児童館や関係団体が工夫を凝らした遊びのプログラムを用意し、ブースを展開いたします。全地協も後援団体としてブースを出展しておりますので会員の皆様も是非、お越しください。

【読者の皆様にお願い】  
 ホームページや機関紙に関する意見、また、活発な活動を行っている単位クラブの事例紹介などをブロックの通信委員にお知らせください。

**退任理事 挨拶**



前会長 重田 強子

一人として皆様とともに活動し、ここに至ることができました。『感謝』の一言に尽きます。



前理事 阿部 恵子

今般の規約改正によりブロック長を任期満了、退任致します。元全国会長任期中もご支援頂きありがとうございました。

**地域活動総合保険「みらい」について**

平成19年度の取扱いは次のとおり。

**(1) 保険期間**

平成19年5月20日から一年間

**(2) 申込み手続き**

**① 申込み方法**

加入申込票(送付済)に必要事項を記入。押印のうえ、各地協

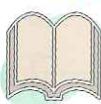
事務局へ送付する。

**② 掛金の送金**

各地協事務局に確認し指定先へ送金する。

**③ 申込み締切日**

平成19年5月10日 (全地協事務局必着)



**書籍の紹介**

**「安全・安心」の本**

中村攻・千葉大学教授の著書を二冊  
「子どもはどこで犯罪にあつているか」犯罪空間の実情・要因・対策



品文社 2000年3月発行  
定価(1900円+税)

公園・道路など、子どもが実際に被害にあつた場所の実態調査にもとづき、街の中にひそむ危険な要因を指摘し、対策を提案

**「安全・安心なまちを子ども達へ」  
—犯罪現場の検証と提言—**



(株)自治体研究社  
2005年10月発行  
定価(1524円+税)

**「児童健全育成」の本**

**「児童館」 理論と実践  
ENCYCLOPEDIA**



(財)児童健全育成推進  
財団 設立30周年記念出版  
(定価2500円 税込)

「児童健全育成」「児童館」の歴史を振り返り、今後の方向性を示唆する初のエンサイクロペディア。子どもの健全育成に関心のあるすべての人へ贈る。――

**「絵本」**

**「つきのはなの丘で」**



著者:鈴木 あや  
新風舎  
2007年3月発行  
定価(1300円+税)

—子ども達が痛ましい犯罪の犠牲になつた現場をまちづくりの視点から踏査し、安全・安心な社会環境の在り方について欧米諸国策も検討しながら鋭く問題提起する。学校の安全は? 地域の安全は? 公園の安全は?

—全部うそつて思つたまんまで大人になつちやうよ!

月明かりのなか、少女はひざを抱いて信じることがどういうことかを必死に考えていた—(帯より)。

—子ども達が痛ましい犯罪の犠牲になつた現場をまちづくりの視点から踏査し、安全・安心な社会環境の在り方について欧米諸国策も検討しながら鋭く問題提起する。学校の安全は? 地域の安全は? 公園の安全は?

**受賞おめでとうございます！ 平成18年度県知事以上表彰受賞者**

**【団体】**

受賞団体名	受賞年月	表彰・受賞内容等	所属
秋芳町地域活動連絡協議会	18年11月	厚生労働大臣賞	山口県地域活動連絡協議会
川副町児童館親子クラブ	18年11月	佐賀県社会福祉功労賞	佐賀県地域活動連絡協議会
福井市若草母親クラブ	18年4月	福井県優良児童愛護団体表彰	福井県地域活動連絡協議会
福井県東郷母親クラブ	18年4月	福井県優良児童愛護団体表彰	福井県地域活動連絡協議会

**【個人】**

受賞者氏名	受賞年月	表彰・受賞内容等	所属
荒井 三保子 (福井市足羽母親クラブ)	18年4月	福井県児童福祉功労者表彰	福井県地域活動連絡協議会
奥野 加津美 (越前市家久母親クラブ)	18年4月	福井県児童福祉功労者表彰	福井県地域活動連絡協議会

**へ事務局からのお知らせ**

平成十九年度より全地協事務局の担当は次となります。

事務局長 松本 健一

事務担当 網野 雄一朗

これまでと同様、児童健全育成

推進財團の支援を受けながら事務を遂行してまいります。皆様

のご協力をお願いいたします。